

Rotary



2019-20 年度 R I のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」
RI 会長 マーク・マローニー (ROTARY CONNECTS THE WORLD)

八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル



●ガバナー 沼田 廣 ●会長 吉田 賢治 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 小原 隆平

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2137 回 例会 記録

《ロータリー創立記念例会》

2020 年 2 月 27 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1569

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



米内職業奉仕委員長

《会長要件》 吉田会長



今日はロータリー創立記念例会です、ビジターに八戸北 RC の山内会長をお迎えしての例会です。皆さんご存知とは思いますが最初にシカゴロータリークラブが出来たのが 1905 年ですからそこから数えると 115 年経っているわけです。うちのクラブはまだ 45 年でシカゴクラブの半分にも行っていないクラブですけれども、45 年という長い年月はクラブが出来た当初の先輩方の思い、大変な事が沢山あったのかもしれませんがそれがあって今我々がこうしてロータリーに携わっていられます。そのように考えると自分もこれからはもっとしっかりしなければという気持ちになります。

今日は北 RC 会長の山内さんの方からも少しお話しいただきますが、そのあとに橋本精二会員と黒田会員からお話を頂戴することになっておりますので皆さんも今日の例会を楽しんで頂きたいと思っております。

《本人誕生日》 三笠会員



誕生日は 2 月 14 日、バレンタインデーです。今年にはチョコを 3 個貰いました。66 歳になりました、まだ 66 歳です。これから健康に気をつけながら、日々歩くということを大切に、1 日 8,000 歩程度を目指して 1 日、1 日を大切に過ごしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

《幹事報告》 伊藤幹事

・私が今着ているのは前にお話ししていたクラブのベストです。慶徳会員からの御芳志で作成したものがようやくできました。蕪島清掃などで使わせていただきたいと思います。



・よろず相談の記事が 19 日のデーリー東北に掲載されました。

・八戸北 RC 創立 50 周年記念式典と祝賀会の案内、大

《出席報告》 原会員



正会員数 36 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 23 名。出席率は 66% です。前々回の例会は、よろず相談報告例会でした。

- ・畑 RC から創立 50 周年の案内が届いています。
- ・当クラブの 45 周年記念式典・祝賀会の出欠を回しています。
- ・米山奨学会事務局より当分の間事務局開設時間を変更するとのお知らせが届いています、9 時から 17 時を 9 時 30 分から 17 時 30 分に変更です。
- ・三沢 RC より創立 60 周年のお礼状が届いています。
- ・八戸地区防犯協会より防犯カメラ設置事業の報告書が届いています。
- ・東日観光よりホノルル国際大会の案内がとどいています。
- ・ハイライト米山、ザ・ロータリアン誌が届いています。
- ・例会変更のお知らせ、八戸東 RC3 月 20 日 (金) 祝日につき休会、メーキャップ不可、八戸北 RC3 月 3 日 (火) 任意休会、3 月 24 日 (火) 時間変更、八戸中央 RC3 月 30 日 (月) 任意休会です。

《ニコニコボックス》 慶徳委員

山内一晃様 (八戸北 RC)：本日はよろしくお祈りいたします。八戸北 50 周年、八戸南 45 周年、お互いにがんばりましょう。

吉田会長：山内会長、本日はようこそいらっしやいました。50 周年おめでとうございます。本日はロータリー創立記念例会です、黒田会員、橋本会員よろしくお祈りいたします。



伊藤幹事：コロナに負けないぞ！！

黒田会員：きょうはスピーチの場をあたえてくださりありがとうございます。

米内会員：4 つの反省です、毎月末ありがとうございます。

本人誕生日：三笠会員

《創立記念のご案内》八戸北 RC 会長山内一晃様



皆さんこんにちは、八戸北 RC で直前会長でもあり現会長の山内一晃と申します。本日は 50 周年のご案内に参りました。各周年行事には色々参加しております、その時必ず言うのはうちが 4 月 18 日、南さんが 4 月 19 日に 45 周年がありますので宿泊で来ていただきたい。という話を私からも僭越ながらご宣伝させて頂いておりますので共に頑張っていきたいと思っております。当クラブの 50 周年ですが 4 月 18 日の土曜日、南さんの 45 周年の前の日になります。大変忙しい中申し訳ありませんが登録料は 12,000 円、14 時登録開始です。式典が 15 時からで記念講演は元八戸市民病院院長の今先生、チラシを皆様のテーブルに置かせていただいておりますが「劇的救命」この方をご存知のようにドクターヘリで活躍された方ですのでそのお話をさせていただきます。祝賀会が 17 時 30 分から 19 時 30 分です。なるべく次の日の南さんの 45 周年に二日酔いにならないようにほどほどで切り上げて臨みたいと思っておりますので、どうぞご参加よろしくお願い致します。

《伊藤幹事》

当クラブの定款細則に 80 歳・90 歳になった会員に記念品を差し上げるとあります、本日のロータリー創立記念例会で黒田会員と橋本精二会員に 80 歳のお祝いの記念品を差し上げたいと思います。黒田会員には手違いで一年遅れになってしまいまして申し訳ありませんでした。

長寿ロータリアン



黒田会員



橋本精二会員

《黒田会員》



私は 81 歳と 8 か月になります。40 歳の時に柏崎に内科医院を開業しました。その 3 か月後、内科医師の村井 勢先生からクラブ入会を勧められました。PG である三沢の兄に相談したところ「ロータリーは一業種一名で、いろいろな職業のかたと知り合いになれるので、ぜひ会員になるよう」と言われました。初めは、のんびりと例会に出席していましたが、村井先生から「そろそろ奉仕活動をするように」と言われ、その時学校医をしていた八戸高校にインターアクトクラブを作りました。それを育てているうちに、自分が秋田と青森の高校生を引率して「インターアクトの翼」で、韓国や台湾に毎年交互に行きました。かわりにソウル芸術高校生が八戸に来たときは、会員の皆さんの協力でホームステイをおこなったこともあります。この流れが南浦項クラブとの姉妹クラブ締結になりました。

もちろん本業である地域医療にも努力しましたが、妻が同じ内科医師として協力してくれたので助かりました。52 歳の時に田名部勇さんや近藤 保さんなどに推薦され 16 代のクラブ会長になり、60 歳で地区ガバナーになりました。この時、北村 篤さんが日本の地区では初めてパソコンを使って「ガバナー月信」を作ったり、近藤 保さんが「地区規約」の「手続要覧」との整合性をきちんとしてくれました。その 2 年後、八戸クラブに依頼されて 2 回目のガバナーも担当しました。

このような八戸南 RC の力を知った、のちの RI 会長になる田中作治 PG が地区大会の RI 会長代理として八戸に来てくれました。その後、この田中作治さんから推薦で国際ロータリー第 1 ゾーンの代表として私にいろいろな奉仕活動を担当させられました。この頃から、毎年シカゴの本部で指導を受けました。そのうち弁護士である同期の千葉県 PG を中心に、慢性腎炎で透析中の菅原 PG (塩釜クラブ) がわざわざその年度の選挙場所である釧路の病院で透析を受け、翌日の RI 理事エレクト指名委員会に参加してくれたこともあります。この状況は石橋一男さんがよく知っています。この RI 理事エレクトの時、アメリカのロータリー・リーダーシップ研究会に一人で自主的参加し、その日本版を八戸で最初に実現することができました。

RI 理事は 71 歳と 72 歳の時です。国際ロータリーの組織を具体的に分かり、それを支える優秀なスタッフに感心しました。その方々に日本人ロータリアンの考え方を理解してもらえよう努め、田中作治さんの RI 会長実現に向けて頑張りました。また世界各国のロータリーの考え方を、日本の皆さんに伝えたいつもりです。RI 理事に続いて、国際職業奉仕委員長、国際ポリオプラス委員会委員や 6 年間の国際ロータリー運営審査委員会委員も務めました。現在のマーク・マローニー RI 会長とも親しくなり、私のロータリー観が変わりました。「せっかくシカゴまで来たのだから、ロータリーの資料を読むだけでなく、ほどほどにしてアメリカや世界の文化も知ってほしい。9 時からの会議は 5 時に終わるから、それから美術館、音楽演奏会や演劇などを観賞しなさい」と地下鉄チケットや入場券を買ってくれたのがマローニーさんだったのです。また去年 12 月には「自分が会長になる年度初めに黒田がいる八戸での IM に参加したい」と述べてくれました。このようなロータリーでの親友は韓国の李東均さんですが、ドイツと台湾にもいます。彼らはロータリーの考え方だけでなく、心も豊かにしてくれます。

奉仕活動としての寄付も無理をせず、続けてきました。

82 歳近くになると、自分自身が老化し、体力低下を感じます。幸いに子供たちが協力して医院を(医療法人名は変えないが)新たに柏崎メディカルクリニックとしてのびのびと受け継いでいます。私は産業医や園医などを数年は行うつもりです。ロータリーでは平和センターの奨学生やロータリー財団奨学生の最終選考を担当し、たびたび東京に行きますが、早く辞めたいと思っています。

これからは自分の体力に合わせてほどほどにし、

むしろ楽しく生きていこうと思うようになりました。今後とも皆さんにはよろしくお願ひいたします。

《橋本精二会員》



今、黒田先生から色々とおはなしをいただきました。黒田先生はロータリーのエキスパートでありますので黒田先生の後に関連あるところを拾いながらお話しさせていただきます。

今日ここに長寿ロータリーとして表彰を受けましたけれども、先ほど黒田先生からお話があったように満80歳になりますと表彰されるということになります。今までの南ロータリーの先輩方の事を見ても80歳で表彰を受けて90歳で長寿表彰を受けた方は初代会長の渡邊先生と中居幸介さん。お二人が90迄お元気でしたので頂いております。ほかの方で80歳の表彰を受けた方は大里会員、村井 勢会員、田村会員、最近ですと皆さんご存知の畠舘さん、金田先生、山田政信さん、そして現在我がクラブの一番の長老の高橋さんが表彰を受けて、今回は黒田先生と私がということで、この会では1番が高橋さん、2番が黒田先生、そして私は同じ年ですが12月生まれで黒田先生は6月生まれということで3番目になります。お陰様で元気です、心身ともと言っても体の方は丈夫ですが、頭とか色々な方がだんだん衰えてきていまして、いろんな方にご迷惑をかけるようになってきたので、そろそろ自分でも気をつけて行動しなければならないなと思っているのが昨今です。

実は先ほど黒田先生のお話にありましたが、村井勢先生が7代目の会長の時、私が幹事を務めさせて頂きました。その時に、当時は公立高校、特に八高ではインターアクトは難しいだろうということでどのクラブも遠慮していたのですが、村井 勢先生と黒田先生は幸い八戸高校の校医をやられておりました。それで推進していただいて、特に金田先生のお子さん、黒田先生のお子さん、私の子どもも入っていましたので、金田先生のお子さんが初代の会長としてインターアクトクラブが出来ました。黒田先生が先ほど話しておられた通り大変ご尽力していただいて、今もインターアクトの大会を開いても八高の方々がリーダーシップをとって、さすが八高生だなと今も続けております。

話を戻しますと、八戸南ロータリークラブの創立は1975年の4月19日になります。私も、一応チャーターメンバーの1人でありましたので、今まで45年間、何とか出席100%で来ております。それは最初の出席委員長を命じられまして、今よりも当時のロー

タリーは出席を非常に大事にしておりました。ですから欠席の時には必ず連絡をすること、メーキャップをしっかりやる事ということをご指導いただきましたので、できたばかりの南ですので、各先輩方にその都度ご連絡をしながら出席を向上されるよう努めてまいりました。そういう関係で自分自身もそうしなければならないということもあって100%を続けられたのかなあ、ということもあります。入会当時私は36歳でありまして、錚々たる方々が大勢いらっしゃいましたので、結構いろんなことで使われたということもあり、皆さんから大変面倒を見て頂き非常に楽しくロータリーを過ごさせていただきました。

私は当時青年会議所もやっておりました。青年会議所は40歳までですので青年会議所とロータリーの二つをやっている結構忙しかったです。特に青年会議所ではその年代の頃は青森県の会長もやっておりました。東北の副会長、全国の役員と結構忙しかったのですが、あちこちに行きますと青年会議所のメンバーの方々も大勢いらっしゃいましたので、地区大会やその他の会合へも楽しみに出かけていました。過去の事を振り返りますと40回くらいは休みなく地区大会へ出席し、いろんなことをお手伝いさせていただいたことを思い出しております。最近何年かはロータリークラブの地区大会と国民体育大会の開会式とが重なっておりまして、私も年を取ってまいりましたので最後の国民体育大会へのお勤めにと、ここ何年かはそちらの方を優先させていただいており、大きな大会へお手伝いできないこと、心苦しく思っております。たまたま国体の方は特別の招待で天皇陛下と皇后陛下がおいでになる特別の会合に招待されておりここ何年かはそちらを優先させていただいております。戦前生まれの私にとりまして天皇陛下は特別な思いがあります。昭和天皇、平成天皇、今の令和の天皇陛下にはとても近いところからご挨拶をさせて頂きまして、私も年なのであとしばらく逝ってもいいなと思っております。

話があちこちにそれましたが、黒田先生が大変なご尽力で現職のRI会長マーク・マローニーさんにおいでいただき、八戸南ロータリークラブがコ・ホストとしてIMを立派にやったというのは我々の誇りだと思いますし、黒田先生が我がクラブにおいでになったからこそできたということで、やはり黒田先生のお力は凄いなあということを感じております。

そろそろ私も年ですので、上手に引退していかなければと思っておりますが、もう少し皆さんと一緒に頑張らせていただきたいと思います。